

地域座談会（栄地区会場） 意見交換記録

と き 平成25年5月17日（金曜日）
午後7時30分から午後9時35分
ところ 下種集落センター
参加者 18人

番号	項 目	町民等からの意見等要旨	町からの発言要旨
1	高齢者への交通サービスについて	<p>●高齢者が増えているが、高齢者グループ活動の世話人は減っている。高齢者は免許証を返還すると移動手段がなくなるため、交通サービスは高齢者が利用しやすいものにしてほしい。</p>	<p>●乗合タクシーや地域交通利用券等の支援を続けていきたいと思えます。ご利用にあたって不便な点等がありましたら、ご意見をいただきたいと思えます。</p>
2	下水道利用料の値上げについて	<p>●独立採算を理由に、下水道利用者が少ないことで生じた赤字を、利用者負担を増額することで賄うとなると、接続しなければよかったということになりかねない。工事後には全員が接続してもらえよう、理解を求める活動にも努力すべきである。</p> <p>●下水接続率はどの程度か。接続率が100%になれば、下水道料金を値上げしなくてよいのか。</p> <p>●当初の下水道説明会において、値上げしていくことについて将来を見越した説明はあったのか。接続する前から今度段階的に値上げされることを聞くと、支払っているのか不安になる。</p>	<p>●今後も全戸に接続してもらうよう説明し努力していきます。</p> <p>●接続率（水洗化率）は81.4%です。下水道建設費に多額の先行投資をしているため、100%接続しても、料金を順次値上げしなくては追いつかないものです。</p> <p>●当初の説明会においては説明されていないと思えます。事業開始当初は景気もよく、生活環境を向上させるため、普及させなくてはいけないという考えから、多額の建設費用をかけて積極的に事業を進めてきました。</p> <p>その結果、24年度には7億円のお金を一般会計から下水道会計に繰り入れることになりました。</p> <p>一般会計から繰り入れるということは、道路や福祉に使わなくてはいけないお金を下水道会計にまわすということです。本来、下水</p>

		<p>●将来的には下水道使用料が値下げできるような方法を考えてほしい。</p> <p>●風力発電の臨時収入等を下水道会計に充てることで、下水道使用料を下げることは考えないか。</p>	<p>道利用で支払っていくべきだと考えています。</p> <p>●現状から考えると、値下げすることは難しいと思っています。しかし値上げを少しでも抑えられるよう水洗化率をあげる努力をするとともに、維持管理費などの経費の節約についても努力してまいります。</p> <p>●風力発電も期限のあるものであり、継続して収入が見込めるわけではないため、それを充てることで下水道使用料を下げることは難しいと考えています。</p>
3	水田の取水堰の改修について	<p>●昨年の座談会でも要望したが、水田の取水路の堰の改修が必要なため、行政で対応してほしい。取水路から取水できなければ、2町2反の田んぼが耕作放棄地になってしまうので検討をお願いします。</p> <p>●堰が壊れたのであれば、申請者が負担して修繕すべきだと思うが、ダム建設等により河川環境が変わったために、取水ができなくなったと思われるので、行政で対応してもらえないか。</p>	<p>●昨年、現地確認したうえで、河川を管理している県土整備維持管理課に相談しました。県の回答では、農業用取水堰は河川占用物件にあたるため、占用申請者で改修してもらわないといけないとのことでした。</p> <p>●どのような対応方法があるのか検討します。</p>
4	地域交通利用券の自己負担について	<p>●地域交通利用券の自己負担額が平等ではない。奥に住んでいると目的地が遠くなるため、自己負担が高くなる。琴浦町は距離にかかわらず一律料金であるが、同様の制度にできないのか。</p>	<p>●距離に応じてご負担いただくとこの点をご理解いただければと思います。なお、乗合タクシーなら200円で利用できますので、サービスを選択してご利用ください。</p>
5	学生の地域交通利用券の利用について	<p>●免許を持っていない18歳以下の学生は、地域交通利用券の対象となるのか。</p>	<p>●学生も対象となります。</p>
6	自治会公民館に設置する太陽光発電の利	<p>●太陽光発電の利益還元はどのような方法でされるのか。自治会での使い道は自由なのか。</p>	<p>●設置費用を町の補助金と町民の融資で2分の1ずつ賄うため、10年程度は売電収入で町民融資を返</p>

	益還元について		済します。その間はわずかな残額が自治会の収入となり、10年経過後はすべて自治会で自由に使っていただける収入となります。
7	地域の自立活性化活動への助成について	●水辺の学校に桜を植えたり、公園をつくったりする計画があり、自治会で全戸から寄付も募ったが、まだ不足している。地域の自立活性化活動への助成とあるが、このような費用にも充てることができるか。	●イベント等のソフト事業を対象とした助成事業のため、対象にならないと思われませんが、他にもコミュニティ助成事業等があるため、具体的な事業内容をお聞きして判断したいと思います。
8	●自治会交付金について	●世帯数が50件以下の自治会では財政基盤も弱く、1件あたりの区費が高くなっている。町からの自治会交付金を増額してもらえないか。	●町の財政が厳しい中で自治会交付金を増額するのは難しいですが、太陽光パネルの設置（売電収入）や防犯灯のLED化（電気代の節約）によって、自治会への支援をしていきます。
9	●事業の取り組みについて	●事業については高い効果を求めるため、人口の多い地区から開始されるが、防犯灯のLED化や太陽光発電設備の設置は世帯数の少ないところほど、効果が高いため、地域性を考慮して事業をすすめてほしい。	●全体の自治会長と相談しながら決定します。
10	●公共施設の建設について	●今後、公共施設を建設する場合には、維持管理費にどの程度かかるかを検討し、維持管理のしやすい施設にしてほしい。	●防犯灯のLED化についても、維持管理の負担を軽減できるという効果がありますので、取り組んでいただきたいと思います。
11	自治会への交付金の増額について	●栄地区は世帯数も少なく、自治会の財政基盤が弱まっている。町からの交付金を増額してほしい。	●町の財政が厳しい中で自治会交付金を増額するのは難しいですが、太陽光パネルの設置（売電収入）や防犯灯のLED化（電気代の節約）によって、自治会への支援をしていきます。
12	●ネット等による情報伝達について	●町の施策として、各家庭でほしい情報が何でもインターネットで得られるような最先端の取り組みをできないか。	●インターネットはかなり普及しているものの、未だにネットを利用できる環境でない家庭もありますので、従来通りの媒体を使用し

			ていきます。ネットがもっと普及すれば、ネットを使った情報伝達を考えていきたいと思います。
13	平均寿命を延ばす取組みについて	●長野県では減塩等の活動により、平均寿命が延びているが、鳥取県でも平均寿命が延びるような啓蒙活動をすべきではないか。	●まず本人が健診に来ることが大切です。 各自治会の健康推進員を中心にポスターをはったり、健診前に呼びかけたりする啓発活動をおこなっていきます。